

論文の要旨

論文題目 現代日本語における「切断・分離」を表す動詞の意味分析
氏名 許 永蘭
学位 博士（文学）
授与年月日 平成25年3月25日

本論文は、現代日本語における「切断・分離」という意味を表す動詞の中で、「キル」、「キレル」、「キラス」、「ワル」、「ワレル」、「サク」、「サケル」という7つの動詞を考察対象とし、その意味を分析し記述することを目的とした。

第1章では、本論文の目的を達成するために、少なくとも、次の2つのことが問題になると述べた。

- ① 本稿の考察対象の各語は、同一の音形に、意味的関連を持つ複数の意味が結びついている。
- ② 本稿の考察対象の7語は、形態を部分的に共有し、構文的、意味的対応を持つ場合がある。

そして、この2つの問題を解決するために、先行研究を踏まえて、次のように考察すると述べた。

- ① 本稿の考察対象の各語を多義語と考え、多義語としての意味分析を行う。
- ② 本稿の考察対象の7語に見られる形態的、構文的、意味的対応を自動詞と他動詞の対応という観点から考察する。

第2章では、本論文が依拠する理論的背景として、認知言語学における意味観について記述した。先行研究に基づき、認知(能力)の反映としての意味、百科事典的意味という2点を確認し、本稿との関わりについて簡単に示した。

第3章では、研究の方法について述べた。まず、多義語の意味分析の方法について、多義語分析の課題(「(それぞれ確立した)複数の意味の認定」、「複数の意味の相互関係の明示」)を明確にし、それぞれの課題の解決の方法について、先行研究の提案とともに、本論文の立場を示した。次に、自他対応の分析方法について、自動詞、他動詞、自他対応という前提となる用語の定義を明確にし、その上で、自他対応の成立条件に関する先行研究を検討した。そして、本論文が援用する力動性という概念について確認した。

第4章から第6章にかけては、7つの動詞について、意味分析を行った。

第4章では、「キル」、「キレル」、「キラス」という3つの語について、多義語としての意味記述を行い、3つの語の自他対応について考察した。「キル」について、9つの意味(別義)と7つの文脈的別義を認定し、別義間の関連性について、メタファー、シネクドキー、メトニミーという比喩の観点から記述した。また、「キレル」について、9つの別義と3つの文脈的別義を認定し、別義間の関連性について、メタファー、シネクドキー、メトニミー、主体化の観点から記述した。さらに、「キラス」について、3つの別義と1つの文脈的別義を認定し、メタファーとメトニミーの観点から記述した。最後に、3語の多義語分析を踏まえ、3つの語の自他対応の様相を示し、その様相を動機づける自他対応の成立条件について、力動性の観点から記述した。

第5章では、「ワル」と「ワレル」という2つの語について、多義語としての意味記述を行った。また、この意味記述を踏まえ、2つの語の自他対応について考察した。「ワル」について、8つの別義と3つの文脈的別義を認定し、別義間の関連性について、メタファー、シネクドキー、メトニミーという比喩の観点から記述した。また、「ワレル」について、6つの別義と2つの文脈的別義を認定し、別義間の関連性について、メタファー、メトニミー、主体化の観点から記述した。さらに、2語の多義語分析を踏まえ、2語の自他対応の様相を示し、その様相を動機づける自他対応の成立条件について、力動性の観点から記述した。

第6章では、「サク」と「サケル」という2語について、多義語としての意味記述を行い、その上で、2語の自他対応について考察した。「サク」について、4つの別義と2つの文脈的別義を認定し、別義間の関連性について、メタファーとメトニミーの観点から記述した。また、「サケル」について、3つの別義を認定し、別義間の関連性について、メタファーと主体化の観点から記述した。さらに、2語の多義語分析を踏まえ、2語の自他対応の様相を示し、その様相を動機づける自他対応の成立条件を記述した。

第7章の最終章では、本論文のまとめを行い、今後の課題について述べた。

以上のように、本論文では、現代日本語における「切断・分離」を表す動詞の中でも、最も基本的で、意味・用法上問題となる7つの動詞について、多義語としての意味分析を行い、従来の動詞の意味論であまり詳しく考察することのなかった多義語の自他対応についても詳しく考察した。その結果、7つの語の多義的別義と多義的別義間の相互関係が明らかになっただけでなく、多義的別義と自他対応の現象がどのように関わるかについても一つの答えを与えることができた。さらに、本論文を通して、認知言語学の重要な考え方となっている、百科事典的意味、力動性について、その妥当性、有効性の一端を言語事実に基づき実証できた。